

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月8日
東

上場会社名 株式会社ダイケン 上場取引所
 コード番号 5900 URL <http://daiken.ne.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 北脇 昭 (TEL) 06-6392-5551
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	5,122	5.3	243	△4.7	244	△6.4	165	10.3
26年2月期第2四半期	4,864	0.1	255	△25.4	260	△24.0	150	△51.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年2月期第2四半期	28.23		—					
26年2月期第2四半期	25.59		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	13,760	10,934	79.5
26年2月期	13,876	10,835	78.1

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 10,934百万円 26年2月期 10,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	14.00	14.00
27年2月期	—	0.00			
27年2月期(予想)			—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	4.6	820	2.4	820	1.6	410	△13.8	69.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期2Q	5,970,480株	26年2月期	5,970,480株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年2月期2Q	96,193株	26年2月期	95,943株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年2月期2Q	5,874,501株	26年2月期2Q	5,875,234株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や政府主導の景気対策を背景に企業の業績は回復基調が続いております。しかしながら、景気回復の期待感が高まりつつあるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動による個人消費減少の影響が続いており、エネルギー・原材料価格及び運送費の高騰など、先行きは不透明な状況で推移しております。

建築金物業界におきましては、新設住宅着工戸数は、消費税増税による駆け込み需要の反動減が続いており、戸建住宅及び分譲マンション建設での需給に厳しい状況があるものの、相続税対策等による新築集合賃貸住宅向けや高齢者福祉施設の建設需要は、堅調に推移していくものと予想されます。

このような中、主要なルート販売先の展示会への出展や製品説明会の実施など、販売先に対する企画提案型営業の取り組みを強化してまいりました。また、官公庁や建設会社、設計事務所へのスペックイン活動をはじめ民間マンション管理組合への説明会等、緊密な営業活動を進め、受注成約率の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高につきましては、51億22百万円（前年同期比5.3%増）となりました。利益面では製造経費や販売管理費の削減に取り組みましたが、円安に伴い原材料費や運搬費等が高騰したことにより、営業利益は2億43百万円（前年同期比4.7%減）、経常利益は2億44百万円（前年同期比6.4%減）となりました。四半期純利益は、設備投資減税の影響等により1億65百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(セグメント売上高)：当第2四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

セグメントの名称	金額(千円)	前年同期比(%)	構成比(%)
建築関連製品	5,051,132	105.4	98.6
不動産賃貸	71,413	98.6	1.4
合計	5,122,546	105.3	100.0

(建築関連製品)

建築関連製品につきましては、ハウスメーカー向けの一部製品について新設住宅着工戸数の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動による減少のため、想定以上に厳しく推移いたしました。一方、アルミ製庇、ゴミ収集庫、自転車ラック及び自転車置場屋根等の製品につきましては、民間賃貸向け集合住宅をはじめ、テナントビルリフォームや高齢者福祉施設関連の需要が高まった結果、堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は50億51百万円(前年同期比5.4%増)、セグメント利益(営業利益)は、円安に伴い原材料や運搬費等が高騰したため3億50百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

(不動産賃貸)

収益の主力でありますワンルームマンションにつきましては、法人需要或いは学生向け単身者世帯の低迷が長引いており厳しい状況にあります。

また、その他の法人向けテナントにつきましては、安定して収益を確保しております。

その結果、売上高は71百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益(営業利益)は33百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ1億16百万円減少し、137億60百万円となりました。これは、機械及び装置が1億62百万円増加したものの、売上債権が3億35百万円減少したことが主因であります。

負債は、前事業年度末に比べ2億15百万円減少し、28億25百万円となりました。これは、前事業年度の法人税等の納付などに伴い、未払法人税等が1億88百万円減少したことが主因であります。

なお純資産は、前事業年度末に比べ99百万円増加し、109億34百万円となりました。これは、前事業年度に係わる配当金を82百万円支払ったものの、四半期純利益を1億65百万円計上したため、利益剰余金が83百万円増加したことが主因であります。

この結果、自己資本比率は79.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益2億44百万円、売上債権の減少3億35百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて64百万円減少し、2億77百万円の収入となりました。

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1億13百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて51百万円支出が増加し、1億38百万円の支出となりました。

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い82百万円などにより、前年同四半期累計期間とほぼ同額の82百万円の支出となりました。

これらの結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて56百万円増加し、20億64百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階におきまして、平成26年4月11日に公表しております業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,742,862	2,799,629
受取手形	2,119,766	1,894,620
売掛金	1,993,170	1,882,338
商品	9,907	9,206
製品	665,698	653,324
原材料	353,241	382,988
仕掛品	204,530	238,375
貯蔵品	25,930	20,760
繰延税金資産	122,479	93,003
その他	24,323	32,219
貸倒引当金	△1,234	△755
流動資産合計	8,260,677	8,005,711
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,128,392	2,083,585
機械及び装置(純額)	192,678	355,072
土地	2,046,400	2,045,900
その他(純額)	194,565	160,114
有形固定資産合計	4,562,036	4,644,672
無形固定資産	99,640	101,395
投資その他の資産		
投資有価証券	475,269	514,084
関係会社株式	20,000	20,000
保険積立金	387,549	387,559
その他	82,361	97,603
貸倒引当金	△10,882	△10,822
投資その他の資産合計	954,298	1,008,425
固定資産合計	5,615,976	5,754,492
資産合計	13,876,653	13,760,203

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	485,793	468,849
買掛金	1,454,273	1,335,524
未払金	209,118	355,714
未払費用	132,095	128,220
未払法人税等	262,394	74,138
賞与引当金	204,708	168,172
役員賞与引当金	23,000	12,000
その他	72,101	83,684
流動負債合計	2,843,484	2,626,304
固定負債		
役員退職慰労引当金	80,775	85,775
繰延税金負債	59,784	54,691
その他	57,382	58,830
固定負債合計	197,941	199,297
負債合計	3,041,425	2,825,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	481,524	481,524
資本剰余金	250,398	250,398
利益剰余金	10,039,181	10,122,801
自己株式	△54,758	△54,894
株主資本合計	10,716,345	10,799,829
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	118,882	134,772
評価・換算差額等合計	118,882	134,772
純資産合計	10,835,227	10,934,601
負債純資産合計	13,876,653	13,760,203

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	4,864,097	5,122,546
売上原価	3,230,302	3,439,016
売上総利益	1,633,795	1,683,530
販売費及び一般管理費	1,378,658	1,440,340
営業利益	255,136	243,189
営業外収益		
受取利息	96	92
受取配当金	12,001	10,199
為替差益	1,058	776
その他	5,641	5,730
営業外収益合計	18,798	16,799
営業外費用		
支払利息	6	5
売上割引	11,536	11,471
休止固定資産減価償却費	1,475	1,476
その他	119	2,904
営業外費用合計	13,137	15,858
経常利益	260,797	244,130
税引前四半期純利益	260,797	244,130
法人税、住民税及び事業税	77,735	62,628
法人税等調整額	32,710	15,638
法人税等合計	110,445	78,267
四半期純利益	150,351	165,863

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	260,797	244,130
減価償却費	98,846	122,953
引当金の増減額(△は減少)	△46,688	△43,074
受取利息及び受取配当金	△12,098	△10,292
支払利息	6	5
売上債権の増減額(△は増加)	465,951	335,892
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,899	△45,344
仕入債務の増減額(△は減少)	△195,581	△148,233
その他の資産の増減額(△は増加)	△22,045	△23,555
その他の負債の増減額(△は減少)	58,286	55,827
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,993	22,743
その他	△512	△189
小計	594,866	510,862
利息及び配当金の受取額	12,098	10,292
利息の支払額	△6	△5
法人税等の支払額	△264,937	△243,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	342,021	277,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△65,645	△113,727
有形固定資産の売却による収入	20	3,142
無形固定資産の取得による支出	△11,128	△13,336
定期預金の預入による支出	△735,000	△735,000
定期預金の払戻による収入	735,000	735,000
その他	△9,592	△14,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,346	△138,062
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△199	△136
配当金の支払額	△81,871	△82,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,071	△82,599
現金及び現金同等物に係る換算差額	474	184
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	174,078	56,767
現金及び現金同等物の期首残高	1,699,732	2,007,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,873,811	2,064,629

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算 書計上額(注)2
	建築関連製品	不動産賃貸	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,791,668	72,429	4,864,097	—	4,864,097
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,791,668	72,429	4,864,097	—	4,864,097
セグメント利益	359,070	36,350	395,421	△140,284	255,136

(注) 1. セグメント利益の調整額△140,284千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算 書計上額(注)2
	建築関連製品	不動産賃貸	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,051,132	71,413	5,122,546	—	5,122,546
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,051,132	71,413	5,122,546	—	5,122,546
セグメント利益	350,963	33,012	383,975	△140,785	243,189

(注) 1. セグメント利益の調整額△140,785千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。